

核兵器廃絶署名 キックオフ集会



被爆者のよびかけた「核兵器廃絶国際署名」をみんなで大きく広げようと山口県推進連絡会を結成しました。

被爆72年目の夏を前にして、署名を本格的に推進するために「キックオフ集会」を開きます。多くのみなさんのお越しをお待ちしています。



日本原水爆被害者団体協議会代表委員

田中 熙巳(たなか てるみ)さんがお話しします

田中 熙巳(たなか てるみ)プロフィール

- 日本原水爆被害者団体協議会代表委員。
- 元東北大学工学部助教授。工学博士 85歳。
- 長崎市中川町の自宅で被爆。伯母ら親族5人を亡くした。原爆投下時になぜ自宅のガラスは割れなかったのかという疑問をきっかけとして理工系に興味を持ち、東京大学生協で働きながら受験勉強。
- 1954年に起きた第五福竜丸事件を契機として大学で核や原爆について学びたいという思いを強め、1956年に東京理科大学理学部物理学科に入学。卒業後、東北大学工学部助手、助教授。



7月23日(日) 午後1時半～ 山口県労福協会館4Fホール



主催／核兵器廃絶国際署名山口県推進連絡会

【連絡先】山口市元町3-49 自治労会館内 (一財)山口県原爆被害者支援センターゆだ苑 083-922-4185

【推進連絡会参加団体】

山口県原爆被害者団体協議会、(一財)山口県原爆被害者支援センターゆだ苑、原水爆禁止山口県民会議、原水爆禁止山口県協議会、全日本自治体労働組合山口県本部、山口県労働組合総連合、山口県生活協同組合連合会、生活協同組合コープやまぐち